

第4章 削減目標

1 温室効果ガス総排出量の削減目標

本計画における短期目標年度、中期目標年度及び長期目標年度の温室効果ガス総排出量の削減目標は、以下の通りとします。なお、これらの削減目標は、地球温暖化の進行状況や地域で発生する影響の頻度や程度、国や世界の政策動向の変化等に合わせて、必要に応じて見直しを図ることとします。

<短期目標（2020（平成32）年度）>

人口一人あたりの排出量を基準年度比 7.9%削減（総排出量を基準年度比 9.1%削減）

<中期目標（2030（平成42）年度）>

人口一人あたりの排出量を基準年度比 26.0%削減（総排出量を基準年度比 23.8%削減）

<長期目標（2050（平成62）年度）>

人口一人あたりの排出量を基準年度比 80.0%削減（総排出量を基準年度比 76.1%削減）

表7 各年度における温室効果ガス総排出量及び人口一人あたりの排出量の目標値

	目標人口 (人)	基準年度	目標値	
			人口一人あたりの 排出量	総排出量 (基準年度からの削減率)
短期目標年度 2020（平成32）年度	250,862	2013 (平成25) 年度	-7.9% (2005年度比-3.8%)	1,506千t-CO ₂ (基準年度比 -9.1%)
中期目標年度 2030（平成42）年度	261,717		-26.0%	1,263千t-CO ₂ (基準年度比 -23.8%)
長期目標年度 2050（平成62）年度	304,257		-80.0%	397千t-CO ₂ (基準年度比 -76.1%)

※目標人口について、短期目標年度は、3年間と短い期間のため、国勢調査及び国勢調査をベースとした山形県公表の推計人口を使用し、「コーホート変化率法」に基づき、山形市が独自に推計した人口を用いる。中期、長期目標年度は山形市人口ビジョンの目標②の人口を用いる。

表8 なりゆきベースの総排出量からの削減率と必要削減量

	なりゆきベース 総排出量からの削減率	なりゆきベースの総排出量からの必要削減量
短期目標年度 2020（平成32）年度	6.5%	約 104 千 t-CO ₂
中期目標年度 2030（平成42）年度	24.4%	約 407 千 t-CO ₂
長期目標年度 2050（平成62）年度	78.5%	約 1,445 千 t-CO ₂

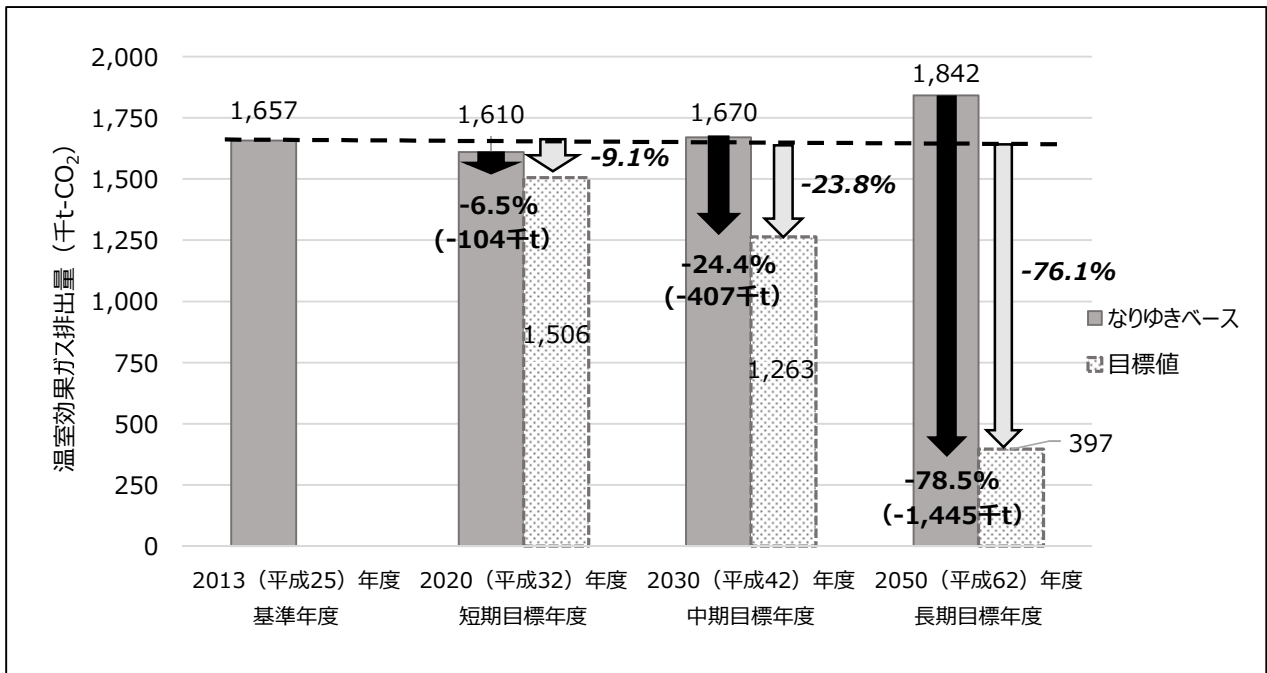


図8 削減の全体イメージ (単位: 千 t-CO₂)

※灰色矢印とその横に記載する削減率(斜体)は、基準年度からの削減率を示す。
 黒色矢印とその下に記載する削減率は、なりゆきベースの排出量からの削減率を示す。

<目標値設定の考え方>

全体

- ・ 国の「地球温暖化対策計画」(平成28年5月閣議決定)や山形県「地球温暖化対策実行計画【中間見直し版】」(平成29年3月)の目標と遜色ないレベルで目標設定を行います。
- ・ 山形市においても、地域の実情や「山形市発展計画」(平成28年3月)や「山形市再生可能エネルギー導入計画」(平成29年3月)などの関連計画の目標値などを踏まえつつ、目標を設定します。
- ・ 全国的及び山形県全域の将来予測が人口減となるなか、山形市は「山形市発展計画」(平成27年度)における目標人口を、2050(平成62)年度に30.4万人(基準年度比20%増)としています。このことから、山形市の人口一人あたりの排出量の削減率が、国の総排出量の削減率と同程度となるよう設定しました。

短期目標年度

- ・ 国の「地球温暖化対策計画」(平成28年5月閣議決定)において、『2020(平成32)年度の温室効果ガス削減目標については、2005(平成17)年度比3.8%減以上の水準にすることとする』とあります。
- ・ そこで、本計画においては、人口一人あたりの排出量が2005(平成17)年度比の3.8%削減となるよう2013年度における人口一人あたりの削減比を設定することとしました。

中期目標年度、長期目標年度

- ・ 「地球温暖化対策計画」において、『2030年度において、2013年度比26.0%削減、2050年までに80%の温室効果ガスの排出削減を目指す。』とあります。また、「山形県地球温暖化対策実行計画【中間見直し版】」(平成29年3月)においても、『2030年度において、2013年度比26.0%、2050年度において80%削減する』こととしています。
- ・ そこで、本計画においては、人口一人あたりの排出量が、「2030年度において、2013年度比26%削減」、「2050年度において、2013年度比80%削減」とすることとしました。